

情報交換及び地域の学習を通して、小中4校の望ましい連携の在り方を探る

I 主題設定の理由

臨地研修による地域素材の共有，授業参観，講演会を通して情報交換を行うことにより，同地域の子どもの教育に携わる小中の教職員が，児童生徒について共通理解を図り，系統的によりよい指導を行えるよう本主題を設定した。

II 研究の内容

1 第1回交流研究会（臨地研修）

- (1) 日時 平成25年8月2日（金） 13：30～
- (2) 目的 地域内の歴史等について学び，その良さを子どもたちに伝え，今後の学習に生かしていく。
- (3) 内容 海島寺を中心に，日川地区の水害の歴史をたどる。
講師 三枝 博先生（元山梨北中学校校長）
平野 勝俊様（龍巖山海島寺住職）

2 第2回交流研究会（講演会）

- (1) 日時 平成25年11月13日（水） 15：20～ （於 加納岩小学校）
- (2) 目的 支援を必要としている子の理解を改めて行い，小中のつながりを考える。
- (3) 内容 「通常学級における支援の在り方
～ユニバーサルデザインを生かした環境づくり，授業づくり～」
講師 土肥 満先生（山梨県総合教育センター 相談指導部 部長）

3 第3回交流研究会（山梨南中学校授業参観）

- (1) 日時 平成26年1月22日（水） 14：00～
- (2) 目的 中学校の授業を参観し，意見交換を通して小中の連携を図り，今後の教育活動に生かしていく。
- (3) 内容
ア 授業参観 中学校1年生のすべての授業を参観
イ 意見交換
・今日の授業について
・児童・生徒の様子について
・小中の連携について

Ⅲ 成果と課題

1 成果

- ・臨地研修では、海島寺を中心に日川地区の水害の跡を辿った。講師の方が貴重な資料を用意してくださったり、熱心に説明してくださったりした。日川地区の水害被害とその対策の歴史についてだけではなく、この地域を本拠地とした栗原氏についても知ることができた。また、信玄の娘松姫などにもゆかりがあることも分かった。身近にありながら分かっていなかった地域の歴史、そこにあるものの意味がよく分かり、今後の授業や指導に大いに参考になった。
- ・講演会では、視覚的な資料を活用しての、大変分かり易い説明でよかった。すぐにも活用できる内容のものばかりであり、ユニバーサルデザインの有効性を実感できた。教具など実物を見せていただき、使い方なども分かりやすく教えていただき勉強になった。いろいろなものを工夫することで支援が可能であること、思いもよらない工夫があることを知ることができた。これからの指導に生かしていきたいと思う。
- ・山梨南中学校の授業参観では、1年生すべての学級の授業を参観することができ、卒業した子どもたちの成長の様子が確認できるよい機会になった。自主性を重んじた中学校の先生方の指導や取り組みを知ることができた。また、小学校段階で身につけさせておきたいことについて、中学校の先生方の考えていることが分かり参考になった。
- ・同じ中学校区の先生方と、地域の学習をしたり、講演会や授業研究があつたりと共に学習ができ、連携を深められた。また、それぞれに交流することで、普段知ることのない学校の様子が分かるよい機会になった。
- ・地域の教員が、児童生徒に関して共通理解をし、連携して指導にあたっていけるという意味でよかった。
- ・年間計画のもと、定期的に様々な交流事業が実施できたことは有意義だった。

2 課題

- ・授業参観の時期が、インフルエンザの時期と重なってしまい、会場校や参加者にも心配をかけることになってしまった。実施時期については、来年度検討の必要がある。また、意見公開では、全体会のみではなく情報交換ができると、さらに具体的な連携の在り方を探れると思う。
- ・学校間の情報交換をもう少しできると、さらに具体的な連携の在り方を探れるのではないかと思う。
- ・中学校までの長いスパンで考えていかなければいけないと感じた。

(ブロック長 高野 栄子)